

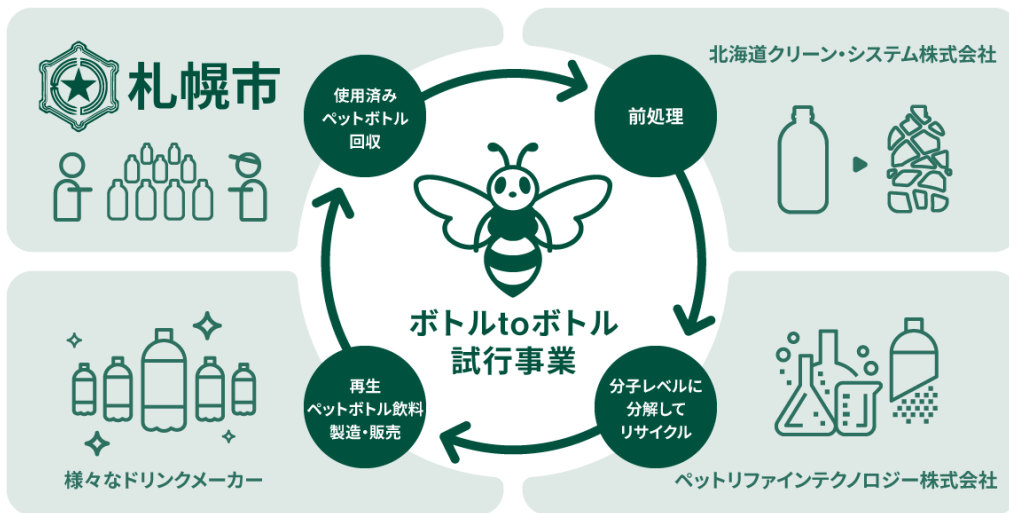
株式会社 JEPLAN
2024年10月16日

JEPLAN グループ：ペトリファインテクノロジー、北海道札幌市と「ボトル to ボトル 試行事業」を開始

－独自の PET ケミカルリサイクル技術を用いてペットボトルを再びペットボトルの原料にすることで資源循環を推進－

株式会社 JEPLAN（代表取締役 執行役員社長：高尾 正樹、以下「JEPLAN」）のグループ会社であるペトリファインテクノロジー株式会社（代表取締役 執行役員社長：伊賀 大悟、以下「ペトリファインテクノロジー」）は、北海道札幌市（市長：秋元 克広）と協働して「ボトル to ボトル試行事業」を実施します。ペトリファインテクノロジーは、本事業において独自の PET ケミカルリサイクル技術を用いて、使用済みのペットボトルから再びペットボトルの原料となる PET 樹脂を再生することで資源循環の推進に貢献します。

そのプロセスは下記の通りです。



本事業は、札幌市で回収されたペットボトルの一部を再びペットボトルにリサイクルする試行事業です。令和6年10月から1年間、本事業による環境負荷等の効果を確認し、将来のペットボトルリサイクルについて検討する予定です。札幌市ではこれまで「容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律」に基づき、市で回収されるペットボトルの全量を指定法人に引き渡しリサイクルを実施してきました。この度、限られた資源のさらなる循環を目的として「ボトル to ボトル」の導入を検討するため本試行事業を実施することとなりました。

本事業では、札幌市に本社を置く JR 北海道グループの北海道クリーン・システム株式会社（代表取締役社長：木元 剛）とも連携をして、回収したペットボトルの前処理を同社が実施します。前処理をした使用済ペットボトルをペトリファインテクノロジーにおいて、独自の PET ケミカルリサイクル技術を用い、石油由来の PET 樹脂と同等品質の PET 樹脂にリサイクルします。

また、さらなる資源循環を推進するため、札幌市と協力をし、市民の皆さまに対して環境教育や資源循環についての啓発活動を進めてまいります。

今後も JEPLAN グループでは「あらゆるものを循環させる」というミッションの実現に向けて、引き続き国内外のパートナーとの連携を進め、グループ一丸となりサーキュラーエコノミーを牽引していくことに努めてまいります。

■JEPLAN グループが推進する「ボトル to ボトル」のリサイクルに係る取り組み (<https://bringbottle.jeplan.co.jp/>)

JEPLAN グループは、日本全国のさまざまな自治体と連携して「ボトル to ボトル」のリサイクルに係る取り組みを推進しています。役割を終えたモノがゴミにならず、価値ある資源として循環する社会を目指しています。



■北海道札幌市 (<https://www.city.sapporo.jp/>)

市長：秋元 克広

■北海道クリーン・システム株式会社 (<https://www.hclsys.co.jp/>)

代表取締役社長：木元 剛

■株式会社 JEPLAN (<https://www.jeplan.co.jp/>)

代表者：代表取締役 執行役員社長 高尾 正樹

設立：2007 年 1 月

主な事業内容：PET ケミカルリサイクル技術関連事業（対象：PET ボトル・ポリエステル）など

JEPLAN グループは「あらゆるものを循環させる」をミッションに掲げ、サーキュラーエコノミーの実現を目指しています。

独自の PET ケミカルリサイクル技術を活用して、廃 PET（ペットボトル、ポリエステル繊維等）を分子レベルに分解し、不純物を除去することで、石油由来と同等品質の再生素材に生まれ変わらせています。この独自技術を用いて、「ボトル to ボトル（ペットボトル）」や「服から服をつくる（ポリエステル繊維）」などのリサイクルに取り組み、再び市場に循環しています。限りある資源の循環を実現し、CO₂の排出量削減にも寄与しています。

本件に関する取材のお問い合わせ先

株式会社 JEPLAN 広報担当

電話：044-223-7898 E-mail：jeplan_info@jeplan.co.jp

なお、JEPLAN グループはペトリファインテクノロジー株式会社（神奈川県川崎市・ペットボトル対象）と北九州響灘工場（福岡県北九州市・ポリエステル繊維対象）の2拠点でPET ケミカルリサイクルプラントを運営しており、国内外への技術ライセンス事業も推進しています。

■**ペトリファインテクノロジー株式会社** (<https://www.prt.jp>)

代表取締役 執行役員社長：伊賀 大悟

設立：2008年10月

事業内容：独自の PET ケミカルリサイクル技術を用いた使用済みペットボトルのリサイクル樹脂の製造・販売